



再び大空を目指して・・・

～鷹狩りの技術を活用したハヤブサのリハビリテーション～

見浦 沙耶子

ねいの里の附属施設である富山県鳥獣保護センターでは、人間生活が原因で傷ついた野生動物を一時的に救護し再び野生に返す活動を行っています。救護される動物は鳥類が多く、様々な種類の鳥たちが搬送されてきますが、近年ハヤブサの救護数が増加の傾向にあります。

現在、センターでは3羽のハヤブサが療養生活を送っています。

ハヤブサのような高度な飛翔能力で狩りをする種は、骨折などの怪我をして治療のために狭い部屋で過ごす期間が長くなると筋力や体力が落ちてしまい、そのままの状態でも餌となる獲物を獲ることができずに死んでしまう可能性があります。

鷹匠が鷹狩りにつかう鷹に行う訓練方法を応用してリハビリをすることで、獲物を獲れる本来の飛翔能力と体力を取り戻すことが期待できると知り、専門家の指導を受けながらその方法を活用する取り組みを始めたのでご紹介します。



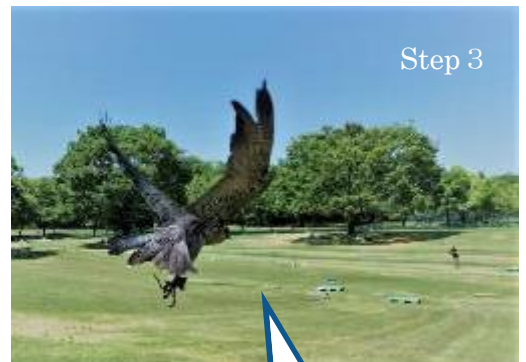
Step 1

最初は差し出した手に飛び乗る運動から始めました。
徐々に高さを上げながら何十回も繰り返して筋力を鍛えます。



Step 2

次に、離れた場所から飛んできてルアー（ハトの羽に餌を付けた疑似餌）を獲らせる訓練をしました。
最初は数mからはじめ、少しずつ距離を長くしていきます。



Step 3

飛べる距離が長くなってきたので、6月には「いこいの村」のゴルフ場をお借りして毎日訓練しました。
狭い部屋の中ではまったく飛べなかった個体がルアーめがけて飛んでくるまでになりました！
でも生きた獲物を獲るにはまだまだです。



がんばるよ！

夏はハヤブサにとっては羽根の生え代わる季節のため、訓練は一旦休んでいます。秋以降にまた再開の予定です。

※このプロジェクトは Patagonia 環境助成金を受けて行っています。

写真募集中（ねいの里の動物たち）

ねいの里「動物の森」サイトの開設にあたって、様々な動物の写真を募集しています。撮影日と氏名（ニックネームも可）をつけて、メールなどでねいの里にご送付ください。

カブトムシの室内繁殖に成功！！

竹内 健心

ねいの里では7月～8月にかけて毎年、「県内のカブト・クワガタ展」を展示しています。

その展示に使うカブトムシやクワガタは、今までは苦労して野外で採集していたのですが、カブトムシの生態観察も兼ねて、捕まえるより繁殖させた方が楽だろう！と思い繁殖にチャレンジしたところ、無事成功しました！

方法もとっても簡単だったので、次年度からはこの方式でいこうと思いました！



保育園出前講座

池松 光春

去る8/21、八尾町の新保保育園に出前講座に行きました。

出前講座とは、ねいの里のPRをかねて近隣の保育園へ剥製や展示生物などを持っていき、子供たちに楽しんでもらう企画です。



**おい！ ザリガニ！！
ツツン…**

この日は、130人程の子供たちを6班に分けてみてもらいました。アメリカザリガニを恐々触る子やへびを首に巻いて自慢げにしている子など生きた生物に興味津々でした。また、剥製でも毛の感触の違いを見ている子やクマの剥製を恐々触る子など初めての体験を楽しんでいる子が多かったようでした。

ねいの里では、子供たちの情操教育の一環としてこのような出前講座を積極的に展開していこうと考えています。

皆さんのお近くの保育園や幼稚園にご紹介いただき、ご要望があれば是非ご一報ください。ご来場されることも大歓迎です。



蛇だ！僕も僕も…（でも、怖いな）

ねいの里 行事報告

● (7月5日) 「野生動物と生きる(被害防除編)」



ニホンザルとイノシシの生態や被害防除方法のお話の後、野外でニホンザルとイノシシ用の電気柵設置体験をしました。ねいの里では過去にハナレザル(オス個体)の記録があるほか、イノシシにおいては生息域になっています。特に、水辺のビオトープのある地域でイノシシの掘り起こしがあり、今回、大賀ハスのある5号池の周辺をイノシシ用電気柵で囲いました。

● (7月26日) 「雑木林体験Part1」

木登り、伐採の2班に分かれて交代で体験しました。子どもたちは、木登りでは高いところが苦手でもロープを使うという初めての体験にウキウキドキドキして、伐採では木を切る作業の大変さを聞いた後初めて使うノコギリに緊張していました。帰るときの満足げな顔が印象的でした。



● (8月10日) 「トンボ調査と標本づくり」



参加者は、園内でトンボを捕獲しいろいろなトンボの種類を教わりました。その後、捕獲したトンボを標本にするための前処理を行いました。トンボは、イトトンボからギンヤンマまで各自1匹以上捕獲でき、全員前処理を完了しました。



● (8月22日) 「水辺の生き物観察と外来生物への接し方」

外来生物の話聞いた後、子供たちはオオガハスの池で生き物捕獲に頑張りました。靴が泥に埋もれたり、全身泥まみれになる子などいましたが、ウシガエルのオタマジャクシ17匹をはじめ、10種55匹の生き物を捕獲できました。在来種は元に戻し、外来種は適宜処理しました。



● (9月19日) 「チョウの鱗粉転写と秋の鳴く虫観察」



チョウの羽からコピー用紙に鱗粉を写し取ることをしました。それを切り取って台紙に張り、模様を付けるなど絵画風に仕上げ、ラミネート処理しました。

参加者(子供11名)は、慣れない手つきで一生懸命擦っていました。出来上がった作品は、個性あふれるチョウの写真のようになっており、家族で喜んでおられました。また、夕方からナイトウォークと称して暗闇のフィールドを散策しました。



ねいの里 これからの行事案内

- 10月4日(日) キノコ狩りとキノコ鍋を楽しむ(共催; 自然塾の会)
時間: 9:30~12:00 集合場所: ねいの里
定員: 100食 対象者: 一般
キノコ鍋試食 200円(自然塾の会会員 100円)
園内でキノコを採取し、専門家による鑑定を実施します。
また、キノコ鍋の試食も行います。
- 10月18日(日) ナチュラリスト解説のためのワークショップ
時間: 9:30~12:00 集合場所: ねいの里
定員: 20人 対象者: ナチュラリスト
ねいの里で解説業務をする時のポイントなどを確認します。
- 11月3日(祝) 雑木林体験 Part 2 (共催; 自然塾の会)
時間: 9:30~12:00 集合場所: ねいの里
定員: 30名 対象者: 一般
参加費 200円(自然塾の会会員 100円)
マッチやライターを使わない火起こしを体験します。
また、その火でパンづくりも行います。
- 11月15日(日) 蔓植物の観察会
時間: 9:30~12:30 集合場所: ねいの里
定員: ー 対象者: 自然塾会員
蔓植物の観察をしながら蔓を採取し、クリスマスリース用に加工します。
- 11月29日(日) クリスマスリースとクリスマスカード作り
時間: 9:30~12:00 集合場所: ねいの里
定員: 20組 対象者: 一般
参加費 300円
自然の木の实や枝を使って、クリスマスリースを作ります。
また、タラヨウの葉でクリスマスカードも作ります。
- 1月4日(月)~6日(水) 春の七草頒布と正月遊び
時間: 9:00~17:00(4日は13:00~)
集合場所: ねいの里
販売数: 200セット 対象者: 一般 価格: 300円/セット(2セット/人まで)



***** <行事への参加希望の方は、ねいの里までお申し込み下さい。> *****
受付開始は、行事实施の約1ヵ月前からになります。

■ 企画展

9/16~11/1 ねいの里キノコ写真展
11/3~12/27 ロードキル写真展
12/14~1/18 春の七草実物展
通年 野生動物と生きる
通年 富山のカエル展



○ 「ねいの里自然塾の会」会員の駐車場利用について

会員の方は、「ねいの里」行事への参加や施設の利用を前提に、ナチュラリスト駐車場を利用出来ます。



発行 富山県自然博物館ねいの里 館長 富永 宣宏
〒939-2632 富山県富山市婦中町吉住1-1
Tel 076-469-5252 / メールアドレス shizen@toyamap.or.jp
ホームページ <http://www.toyamap.or.jp/shizen/>